

ポーランドのAGH科学技術大学でのPBLの実施

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2020年02月24日 ～2020年03月06日	ポーランド	ポーランド科学技術大学	<ul style="list-style-type: none"> ・機械機能工学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生8名、教員2名 (ポーランド科学技術大学) 学生11名、TA1名、教員4名、職員2名	細矢 直基(機械機能工学科)、高崎 明人(機械機能工学科)、橋村 真治(機械機能工学科)



図1 研究室実験

2月24日から3月6日までの12日間の日程で、AGH University Science and TechnologyにおいてWinter Schoolを実施した。受け入れ教員は、Professor Janush Szmyd, Professor Grzegorz Brus, Dr. Marcin Moździerzで、主にDr. Moździerzと協議しながら進めた。テーマは以下の通りである。

- 1.The Sun as a reliable energy source? Comparison and perspectives of the solar power market in Japan and Poland (lab: solar panel).
- 2.Comparative analysis of Polish and Japanese buildings' thermal insulation systems (lab: thermal conductivity of solids).
- 3.Polish and Japanese coal-based energy conversion systems – current status and future perspectives (lab: bomb calorimeter).
- 4.Hydrogen-based chemical and energy systems – hydrogen production and usage in Poland and Japan (lab: flow in porous media).

日本人学生とポーランド人学生の混成チームによりPBLを実施した。中間発表では、先生、博士課程生、学生同士からの指摘を受けた。最終発表では、これらの指摘を踏まえ、改良した内容で発表し、質疑応答を行った。また、PBLにはAGHが提供する学生実験用装置を使った実験が含まれており、その結果と上記テーマを結びつけるように設定されている。



図2 特別講演(橋村真治先生)



図3 最終発表会



図4 送別会